

取扱説明書

高齢者・視覚障害者用 音響標識・誘導音再生機能付
音声付触知図案内板用 WAVE ファイル再生ユニット

WAV2500-VN01

02-WAV-25VN01-UM-01 020325

このたびは、WAV2500-VN シリーズをお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
本機の優れた機能をご理解頂き、末永くご愛用頂くためにも、この取扱説明書をよくお読み下さい。

<p>安全に関するご注意</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ●水、湿気、ほこり、油煙などの多い場所に設置しないで下さい。火災、故障、感電の原因になります。 ●本装置の接続、カードの挿入・交換、各種設定・変更の際は、感電事故を避けるため、必ず、電源を切ってから行って下さい。 ●本装置の定格範囲外で使用されますと、故障が起きたり、十分な機能が発揮できないことがあります。 ●本装置の設置、接続、使用方法に関しては本取扱説明書をよくお読み頂き、正しくご使用下さい。
--	---

1	概要	2
2	特長	2
3	主な用途	2
4	登録時間	2
5	仕様	3
6	外觀図並びに外形寸法図	4
7	付属品及びオプション	4
8	適用音源	4
9	適用メモリカード並びに WAVE ファイル登録・カードデータ作成ソフト	6
10	設置方法	6
11	接続	6
12	再生モード・タイマー・再生チャンネルの設定	6
13	再生モード	7
14	再生チャンネル用の音響標識・誘導音・音声ガイドの録音・登録	10
15	Flash メモリカード「スマートメディア」のセット	11
16	再生チャンネルと VoiceMaker3 上アドレスの関係	11
17	音量調整	12
18	使用電源	12
	設置参考図	13
	接続参考図	14
	押しボタン付ハーネスについて	15
	困った時に (トラブル対策)	16

VoiceNavi

1. 概要

本ユニットは、高齢者・視覚障害者向けの音声付触知図案内板用の音源として、使用する WAVE ファイル再生ユニットです。本機の電源投入もしくはセンサー(人検知)入力により、触知図案内板の所在を示し、誘導する音響標識・誘導音再生機能も有しています。

施設・設備の音声ガイド・案内は Flash メモリカード内に最大16CH まで登録でき、付属品の押しボタンを押すことにより、即時再生できます。触知図案内板の所在を示し・誘導する音響標識・誘導音は最大 4CH まで登録、インターバルタイマーによるエンドレス再生します。

音声ガイド・内容と音響標識・誘導音は Windows パソコンで手軽に録音・登録できます。

2. 特長

最大16CHまでの施設・機器の音声ガイド・案内を登録でき、押しボタンで即時再生できます。

最大4CHまでの音響標識・誘導音を登録し、DIP SWで選択、エンドレス再生できます。

音響標識・誘導音のインターバルタイマー0/10/15/20/30/40/45/60 秒間はDIP SWで設定できます。

記憶媒体に Flash メモリカード「スマートメディア」を採用。

「WAVE ファイル」採用により Windows パソコンで手軽に録音・登録できます。

●スピーカーアンプ 5Wmax.8Ω 搭載

●300W×160D×40H mm

●AC100V 電源

3. 主な用途

●音声付触地図案内板用音源

触知図案内板でのトイレ・券売機コーナー等の音声ガイド・案内

●案内板の音源

観光案内板での施設・名所案内

ショールーム展示物の音声ガイド・案内

4. 登録時間

■登録時間: サンプル周波数・Flash カードのカード容量による。

カード容量	サンプリング周波数 KHz		
	11.025KHz	22.05KHz	44.1KHz
8MB	11.2 分	5.6 分	2.8 分
16MB	22.4 分	11.2 分	5.6 分
32MB	44.8 分	22.4 分	11.2 分
64MB	89.6 分	44.8 分	22.4 分
128MB	179.2 分	89.6 分	44.8 分

PCM 8Bit MONO 単位:分 max

(注) 1WAVE ファイルの制限 16MB 未満。16MB 以上の WAVE ファイルは再生できません。

サンプリング周波数の混在再生もできます。

■再生時間: プログラム再生登録機能を使用する場合はプログラム登録内容によります。

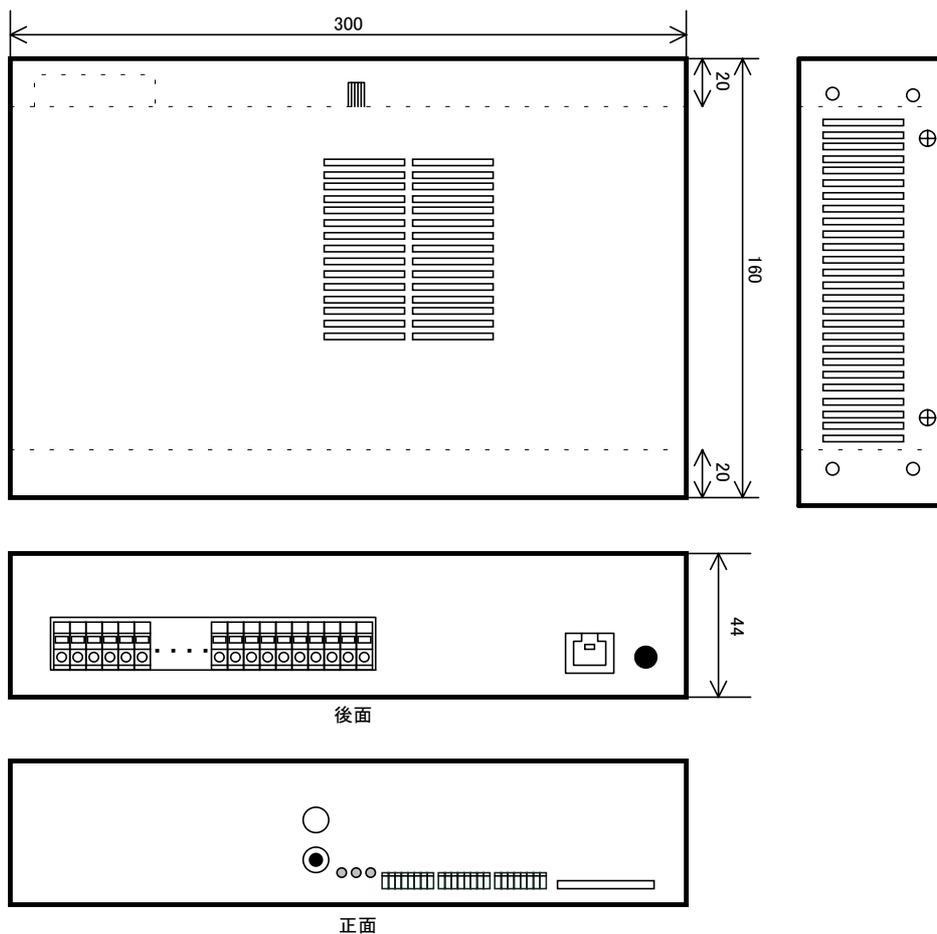
プログラム再生登録していない場合	接点端子に登録した WAVE ファイル時間
プログラム再生登録してある場合	組立再生登録・リピート回数登録内容による

VoiceNavi

5. 仕様

定格使用電圧	AC100V(AC85~132V) 50/60Hz AC電源コード またはDC+24V±10% スクリューレス端子台 注. AC170V~264V対応品—受注生産品
消費電流	待機時 約 7W 最大時 約 19W (再生-音量 VR 最大時)
寸法・重量	300W X 160D X 40H (mm)突起部含まず 約2.5K
塗装・仕上	グレー 焼付塗装
使用温度範囲	-5°C~55°C
保存温度範囲	-10°C~70°C
使用湿度範囲	35%~80%RH(但し結露なき事)
音声出力	スピーカ出力 5Wmax 8Ω LINE出力 0dBm 600Ω(不平衡)
音量調整	SP OUT 外部可変ボリューム LINE OUT 半固定ボリューム(ボード上 VR2) -12dBm~2dBm
再生制御	再生モード、標識・誘導音・タイマー時間は DIP SW で設定 ●音声ガイド・案内 接点制御 後入力切替再生モード・通常再生モード 16点 max. ●音響標識・誘導音 インターバルタイマーエンドレス再生 1CH—標識・誘導音を 4CH から 1CHを DIP SW で設定 インターバルタイマー 0/10/15/20/30/40/45/60 秒間 DIP SW で設定 (注)音響標識・誘導音は、押しボタンによる音声ガイド・案内再生中は、停止します。
適用メモリカード	フラッシュメモリカード 「スマートメディア」 8/16/32/64/128MB 3.3V タイプ 1枚 max. 適用フォーマット フラッシュパス, Windows95/98/ME/2000(FAT) 対応
登録チャンネル数	25max (プログラム再生登録対応)
再生方式	48.0/44.1/32.0/22.05/16.0/11.025KHz 混在可 PCM 8Bit モノラル (WAVE ファイル)
再生帯域	300Hz~10KHz
登録時間	カード容量と WAVE ファイルのサンプリング周波数による 44.1KHz 22.05KHz 11.025KHz 8MB 2.8分 5.6分 11.2分 16MB 5.6分 11.2分 22.4分 32MB 11.2分 22.4分 44.8分 64MB 22.4分 44.8分 89.6分 128MB 44.8分 89.6分 179.2分 (注) 1WAVE ファイル制限 16MB 未満 16MB 以上の WAVE ファイルは再生できません。
再生時間	プログラム再生登録機能を採用した場合、プログラム内容による
プログラム再生登録機能	本機能は、カードデータ作成ソフト VoiceMaker3 上で設定します。 組立再生登録 1接点 8 WAVE ファイル max. リポート回数登録 1接点 5回 max.
適用音源・録音装置	WAVE ファイル PCM 8Bit Mono Windows95/98 パソコンの録音機能による
適用カードデータファイル作成ソフト	VoiceMaker3 for windows95/98 WAVE ファイル登録・プログラム再生登録・レポート作成機能他

6. 外観図並びに外形寸法図



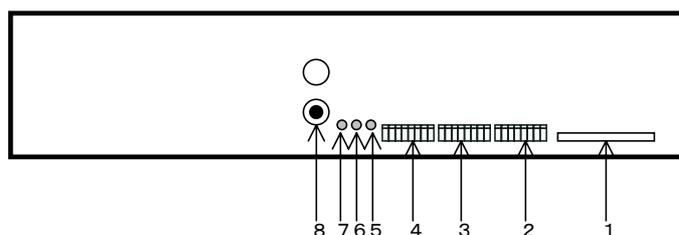
7. 付属品及びオプション

製品名	付属品	オプション
WAV2500-VN01	1. 取扱説明書 2. 保証書	<ul style="list-style-type: none"> ■スマートメディア 8MB 16MB 32MB 64MB 128MB 3.3V タイプ ■WAV 用 WAVE ファイル登録・カードデータファイル作成ソフト: VoiceMaker3

8. 各部の名称と機能

■フロントパネル WAV2500-VN01

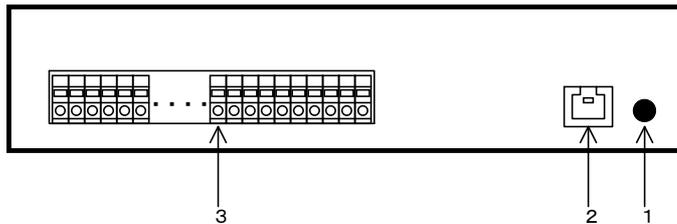
No.	名称
1	カード挿入口
2	MODE3 スイッチ
3	MODE2 スイッチ
4	MODE1 スイッチ
5	PLAY(再生中)LED
6	POWER LED
7	ALARM LED
8	音量ボリューム



VoiceNavi

■リアパネル WAV2500-VN01

No.	名称
1	AC100V 電源用コード
2	ヒューズホルダー(0. 5A)
3	スクリューレス端子台



■コネクタのピンアサイン

コネクタ No.	ピン No.	I/O	信号名	説明	適用コネクタケーブル
CN6	1	O	/	LINE OUT+	オプション CK-LER2
	2			LINE OUT-	

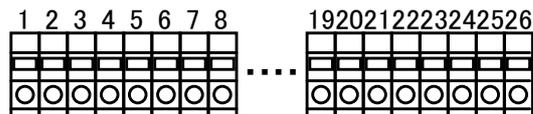
適応コネクタ一覧表

コネクタNo	基板側コネクタ仕様	ケーブル側コネクタ仕様	適合コンタクト
CN6	日圧/B2B-EH	日圧/EHR-2	BEH-001T-P0.6

■端子台ピンアサイン

No.	表示	I/O	レベル(H/L)	説明
1	COM	I	L	信号用GND
2	ALM	O	L	アラーム信号出力
3	BUSY	O	L	ビジー信号出力
4	OP	I	L	OP信号入力
5	STOP	I	L	ストップ信号入力
6	16	I	L	SW16
7	15	I	L	SW15
8	14	I	L	SW14
9	13	I	L	SW13
10	12	I	L	SW12
11	11	I	L	SW11
12	10	I	L	SW10
13	9	I	L	SW9
14	8	I	L	SW8
15	7	I	L	SW7
16	6	I	L	SW6
17	5	I	L	SW5
18	4	I	L	SW4
19	3	I	L	SW3
20	2	I	L	SW2
21	1	I	L	SW1
22	COM	I	L	信号用GND
23	+(SP OUT)	O	/	スピーカ出力+側
24	-(SP OUT)	O		スピーカ出力-側
25	+(DC IN)	I		DC+24V電源入力
26	GND(DC IN)	I		同上一入力

スクリューレス端子台



サトーパーツ：ML-800S1H26P

(注)適合電線

撚線：0.3mm²～1.25mm²(AWG22～AWG16)

素線径：φ0.18以上

(注)

1. 接続する場合、必ず電源を切って下さい。
2. 信号入出力、スピーカ出力端子には電圧を印加しないで下さい。
3. 信号入出力、SPの配線はできる限り短くして下さい。高圧ケーブルとの併設は避けて下さい。
4. 必要に応じてシールド線等をご使用下さい。

9. 適用音源

下記の WAVE ファイルが使用できます。

48.0/44.1/32.0/22.05/16.0/11.025KHz PCM 8Bit MONO	(ご注意) 1WAVE ファイル 16MB 未満以内 8.3 形式のファイル名 16Bit・ステレオ・ロングネームは使用できません。
---	---

(注)

録音される場合、サウンドレコーダーやサウンドブラスター(互換)サウンドボードでフォローされている 44.1/22.05/11.025KHz サンプルリングを推奨します。

10. 適用メモリカード並びに WAVE ファイル登録・カードデータ作成ソフト

適用メモリカード	Flash メモリカード 「スマートメディア」 8/16/32/64/128MB 3.3V タイプ	(注) 購入した場合、パソコン上でフォーマット(初期化)してご使用下さい。
適用 WAVE ファイル登録・ カードデータファイル作成ソフト	ボイスメーカーズリール VoiceMaker3	作成したカードデータファイル.wpj と WAVE ファイル.wav はカードアダプタを使用してスマートメディアにコピーします。

11. 設置方法

本体付属のL金具を使用する場合	ビス等で取付面に固定します。 (参考図)外観図
その他の設置方法	本体付属のL金具を取り外すことができます。 L金具取付け穴等を使用して、固定します。

12. 再生モード・タイマー・再生チャンネルの設定

MODE1 SW (DIPSW) で再生モード・タイマー・再生チャンネルを設定します。

(注) 必ず、電源を切って行って下さい。電源 ON 時に設定内容を識別します。



1. 再生モードの設定 (Bit1, 2, 3)

使用する再生モードを設定します。

MODE1 SW								再生モード	
1	2	3	4	5	6	7	8		
								1	誘導音インターバルタイマー再生モード
●								2	誘導音センサー・接点入力再生モード
	●							3	テスト再生モード

● -> ON

VoiceNavi

2. 誘導音の選択 (Bit4, 5)

21CH～24CHに登録されている内容(誘導音)を選択します

MODE1 SW								再生モード
1	2	3	4	5	6	7	8	
			●					1 誘導音1(21CH)
				●				2 誘導音2(22CH)
			●	●				3 誘導音3(23CH)
			●	●				4 誘導音4(24CH)

3. 誘導音再生用インターバルタイマーの設定 (Bit6, 7, 8)

生後に付加するタイマー時間を設定します

MODE1 SW								インターバルタイマー
1	2	3	4	5	6	7	8	
								1 インターバルタイマー 0秒
					●			2 インターバルタイマー 10秒
						●		3 インターバルタイマー 15秒
					●	●		4 インターバルタイマー 20秒
							●	5 インターバルタイマー 30秒
					●		●	6 インターバルタイマー 40秒
						●	●	7 インターバルタイマー 45秒
					●	●	●	8 インターバルタイマー 60秒

1.3. 再生モード

1. 再生モードの説明

再生モード	機能
誘導音インターバルタイマー再生モード	DIP-SWにて指定されたCH(21CH～24CH)を電源ONにて設定されたインターバルタイマーにより繰り返し再生を行い、再生中に接点入力(SW1～SW16)があるとそれに該当するチャンネルの内容に即座に切り替わり再生します
誘導音センサー・接点入力再生モード	DIP-SWにて指定されたCH(21CH～24CH)をセンサー入力(OP)にて設定されたインターバルタイマーにより繰り返し再生を行い、再生中に接点入力(SW1～SW16)があるとそれに該当するチャンネルの内容に即座に切り替わり再生します
テスト再生モード	SW1～SW16にて入力されたチャンネルのワンショット再生もしくはリピート再生 (MODE2, MODE3のDIPSWにてSW1[1CH]～SW16[16CH]の選択可能)

2. 再生モード「誘導音インターバルタイマー再生モード」

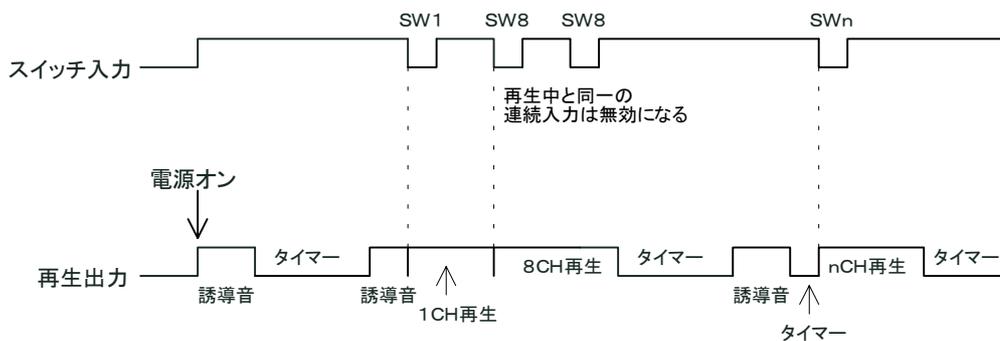
接点入力と再生アドレスの対応は以下のようになります

接点入力	再生チャンネル
SW1	1CH
SW2	2CH
SW3	3CH
SW4	4CH
SW5	5CH
SW6	6CH

VoiceNavi

SW 7	7 CH
SW 8	8 CH
SW 9	9 CH
SW 10	10 CH
SW 11	11 CH
SW 12	12 CH
SW 13	13 CH
SW 14	14 CH
SW 15	15 CH
SW 16	16 CH

- ① 電源オンと同時に DIP-SW(Bit4,5)にて設定されたチャンネル(21CH~24CH)をリピート再生します。(タイマー設定時は該当するインターバルにて再生)
- ② ①のチャンネルが再生中に、接点入力があると該当するチャンネル(1CH~16CH)へ即座に切り替わり再生します。
- ③ 接点入力によるチャンネルの再生中は、当該接点以外の入力は有効とされ、即座に入力された接点に該当するチャンネルへ切り替わり再生します(後入力優先再生)
- ④ 接点入力によるチャンネル再生の終了後は、タイマーを起動させ(ビットSWにて設定されたタイマー値)、①の動作へ移行します。
- ⑤ 電源オフにて再生を終了します。



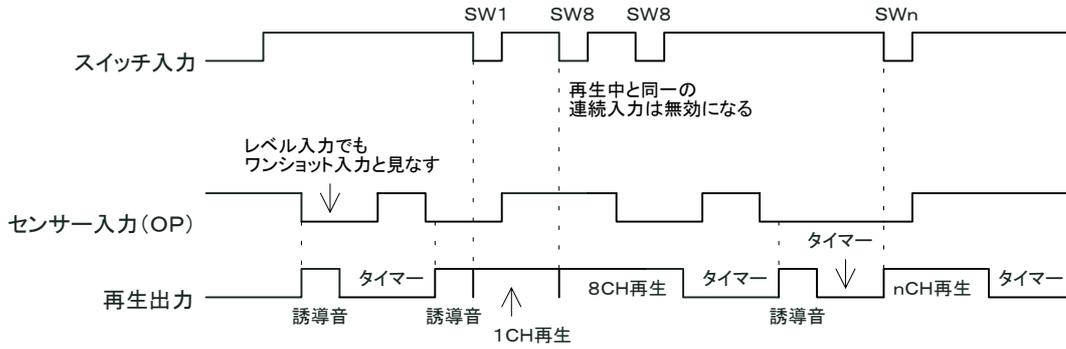
3. 再生モード「誘導音センサー・接点入力再生モード」

本機の電源投入後、30秒間はOP入力が無効となります。

接点入力と再生アドレスの対応は前記の「誘導音インターバルタイマー再生モード」と同様になります。

- ① センサー入力(OP)があると、DIP-SW(Bit4,5)にて設定されたチャンネル(21CH~24CH)をリピート再生します。(タイマー設定時は該当するインターバルにて再生)
注. センサー入力はレベル入力であっても、ワンショット入力と見なし1回のみ再生
- ② ①のチャンネルが再生中に、接点入力があると該当するチャンネル(1CH~16CH)へ即座に切り替わり再生します。
- ③ 接点入力によるチャンネルの再生中は、当該接点以外の入力は有効とされ、即座に入力された接点に該当するチャンネルへ切り替わり再生します(後入力優先再生)
- ④ 接点入力によるチャンネル再生の終了後は、タイマーを起動させ(ビットSWにて設定されたタイマー値)、①の動作へ移行します。
- ⑤ 電源オフにて再生を終了します。

VoiceNavi



注意 . OP入力については、センサー出力の安定時間を考慮し、本機の電源投入後 30 秒間は OP 入力が無効となります。

4. 再生モード「テスト再生モード」

端子台からの接点入力 (SW 1 ~ SW 16) もしくは、MODE 2 , 3 SW (DIP SW) により下記の再生ができます。

MODE 2 , 3 SW と接点入力の関係

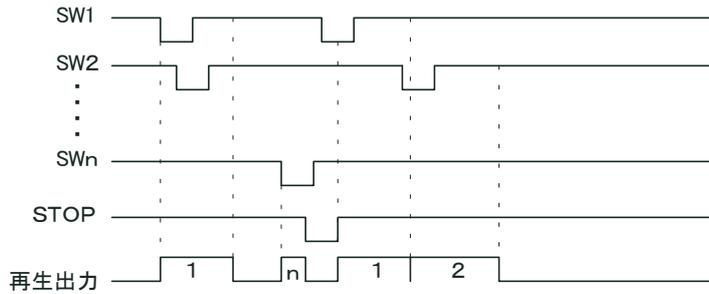
MODE2 SW										機能	
1	2	3	4	5	6	7	8				
●								1	SW1 ON	と同一動作	
	●							2	SW2 ON	と同一動作	
		●						3	SW3 ON	と同一動作	
			●					4	SW4 ON	と同一動作	
				●				5	SW5 ON	と同一動作	
					●			6	SW6 ON	と同一動作	
						●		7	SW7 ON	と同一動作	
							●	8	SW8 ON	と同一動作	

MODE3 SW										機能	
1	2	3	4	5	6	7	8				
●								1	SW9 ON	と同一動作	
	●							2	SW10 ON	と同一動作	
		●						3	SW11 ON	と同一動作	
			●					4	SW12 ON	と同一動作	
				●				5	SW13 ON	と同一動作	
					●			6	SW14 ON	と同一動作	
						●		7	SW15 ON	と同一動作	
							●	8	SW16 ON	と同一動作	

1. ワンパルス入力時

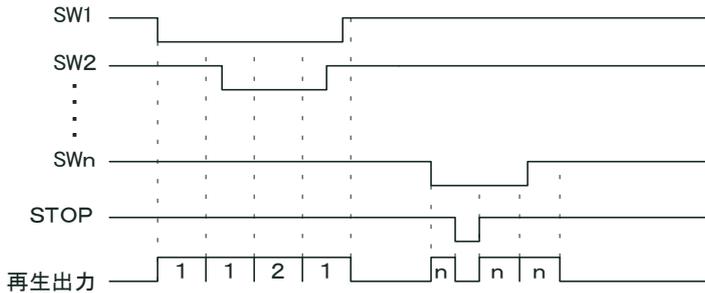
- ① 再生は一回のみ再生で、再生中は他の入力は見ません。
- ② 再生終了後に次のSW入力からスキャンを行います。
- ③ ストップ信号入力により、即停止します。

VoiceNavi



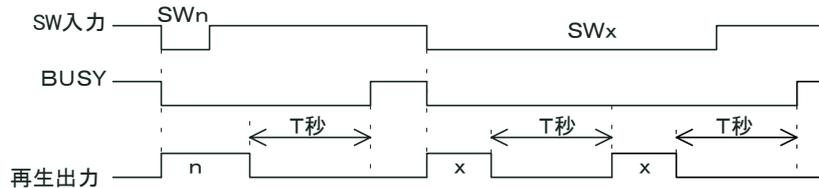
2. レベル入力時

- ① レベル入力の場合はリピート再生で、再生中は他の入力は見ません。
- ② 再生終了後に次のSW入力からスキャンを行います。
ストップ信号入力で即停止し、引き続き入力がある時は、ストップ解除後に最初から再生します。



3. タイマー設定時

再生終了後に DIPSW (No.3, 4, 5)にて設定されたタイマー時間(0秒~60秒)が作動し、経過後にBUSY信号がオフします。



T秒：DIPSWにより設定されたタイマー時間

1.4 . 再生チャンネル用の音響標識・誘導音・音声ガイドの録音・登録

No.	項目	内容
1	WAVE ファイル製作 (パソコン録音)	Windows パソコンの録音機能を使用し、MIC または外部機器を接続して、録音し、WAVE ファイルを作成します。 通常、市販・フリーウェアの WAVE ファイル録音・編集ソフトでメッセージの前後の無音をカット・追加などの編集を行います。
2	VoiceMaker3 で WAVE ファイル登録	VoiceMaker3 の WAVE ファイル登録画面で上記の WAVE ファイルを、登録します。 また必要に応じて、組立再生、リピート回数を設定し、カードデータファイルを作成します。
3	VoiceMaker3 で アドレス登録	VoiceMaker3 のプログラム再生登録画面でアドレスに WAVE ファイルを割付けします。 また必要に応じて、組立再生、リピート回数を設定し、カードデータファイルを作成します。
4	VoiceMaker3 で 組立再生、リピート回数登録	上記の登録の際、1 アドレス毎に組立再生、リピート回数を設定できます。
5	カードデータファイル作成	VoiceMaker3のカードデータ作成画面で所定事項を入力し、カードデータファイルを作成します。

VoiceNavi

6	VoiceMaker3 でドキュメント印刷	必要に応じて、ドキュメントを印刷します。
7	Flash メモリカード「スマートメディア」のフォーマット(初期化)	購入したスマートメディアを Windows パソコン上でフォーマット(初期化)します。 (注)市販されているスマートメディアはデジタルカメラフォーマットです。
8	Flash メモリカードスマートメディアへのコピー	上記 2.で作成した WAVE ファイル XXX.wav とカードデータファイル XXX.wpj をスマートメディアにコピーします。

カードのフォーマットについては下記OSに対応しております

OS	対応アダプタ	注意事項
Windows95	フラッシュバス PCカードアダプタ USBカードアダプタ	32MB カード以上のカードを使用する場合、大容量のため、コピー時間がかかります。 時間短縮のため、PCカードアダプタ、USBカードアダプタを推奨します。
Windows98	フラッシュバス PCカードアダプタ USB対応カードアダプタ	
WindowsME	フラッシュバス PCカードアダプタ USBカードアダプタ	
WindowsNT 4.0	フラッシュバス	
Windows2000 (「FAT」形式)	フラッシュバス PCカードアダプタ USBカードアダプタ	

- 注1. フラッシュバスを使用する場合は、フラッシュバス専用のユーティリティソフトでフォーマットして下さい。
 注2. Windows2000 でのフォーマットは、フォーマット形式を「FAT」にしてフォーマットして下さい。
 それ以外のフォーマット形式ではカードが装置側で認識できません
 注3. 対応アダプタはメーカーにより仕様が異なりますので、詳細はメーカーにお問い合わせの上御使用願います。

15. Flash メモリカード「スマートメディア」のセット

金色の接触部を下にし、カードコネクタに軽く、水平に挿入します。
最後まで確実に挿入して下さい。

16. 再生チャンネル / VoiceMaker3 上のアドレスの関係

VoiceMaker3 上の各画面の No.と再生チャンネルの関係は次の通りになります。
WAVE ファイル登録画面で WAVE フィル登録を行い、次にプログラム再生登録画面で登録します。

■ 音声ガイド・案内と音響標識・誘導音

		VoiceMaker3 上の プログラム再生登録画面上 No.
押ボタン 等の入力 SW	SW1	1
	SW 2	2
	SW 3	3
	SW 4	4
	SW 5	5
	SW 6	6
	SW 7	7
	SW 8	8
	SW 9	9
	SW 10	10
	SW 11	11

VoiceNavi

	SW 12	12
	SW 13	13
	SW 14	14
	SW 15	15
	SW 16	16
音響標識・ 誘導音	1	21
	2	22
	3	23
	4	24

(注)必ず、プログラム再生登録画面で登録して下さい。

■組立再生・リピート回数の登録

VoiceMaker3 上のプログラム再生登録画面上で、アドレス登録以外に下記の登録ができます。

組立再生 1 アドレス 8wave ファイル max.
 リピート回数 5 回 max. (組立再生全体をリピートします)

17. 音量調整

可変ボリュームで音量調整します。

出力	出力内容	調整方法
スピーカー出力	5W max.8Ω	シャフト付き可変ボリューム

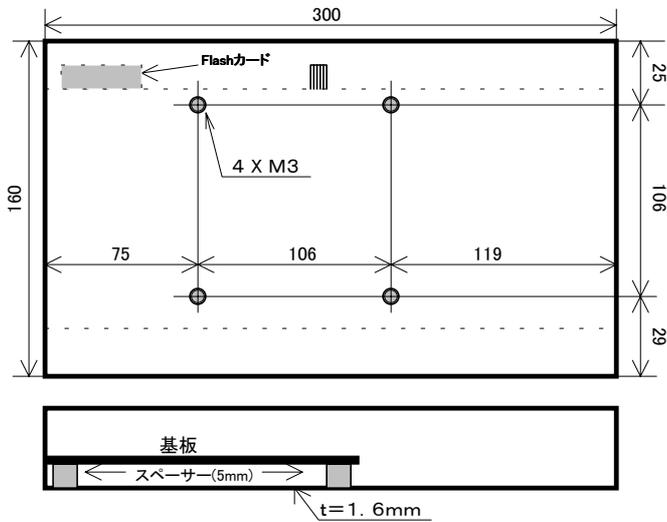
18. 使用電源

使用電源	電圧範囲	消費電力		備考
		待機時	最大時 (5W 最大時)	
AC100V 電源	AC100V ±10% 50/60Hz	約 7W	約 19W	ヒューズ 0.5A

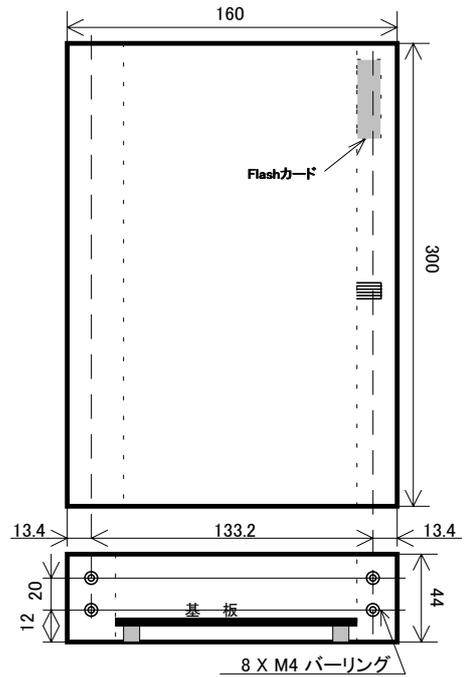
設置参考図

1. ビス止めによる設置

設置図（底面ビス止め）



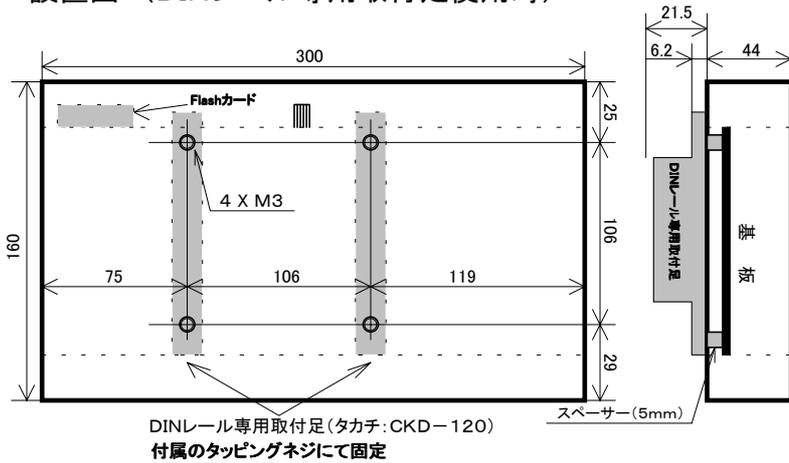
設置図（側面ビス止め）



2. DINレールへの設置

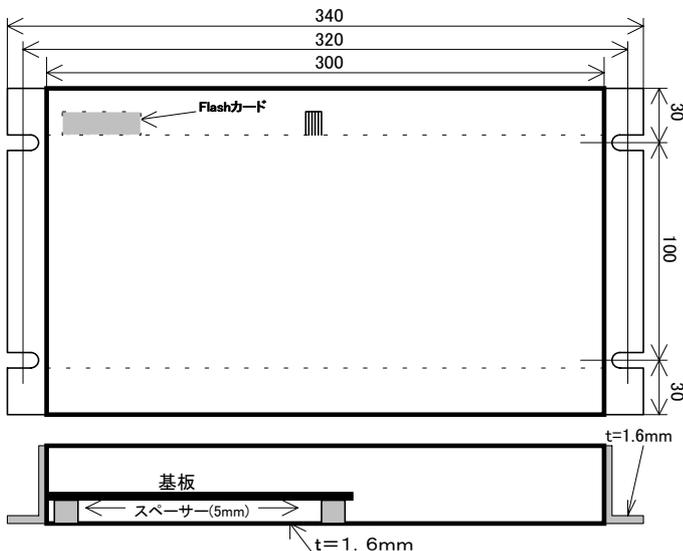
設置図（DINレール専用取付足使用時）

注. 21.5はDINレールからの寸法



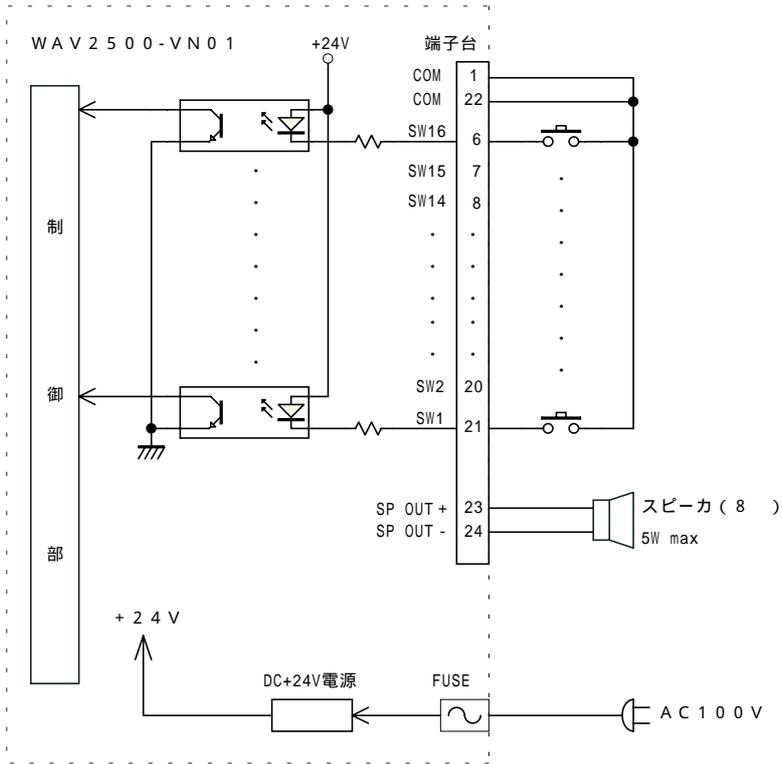
3. L金具使用による設置

設置図（L金具:WAV-LKANAGU使用時）

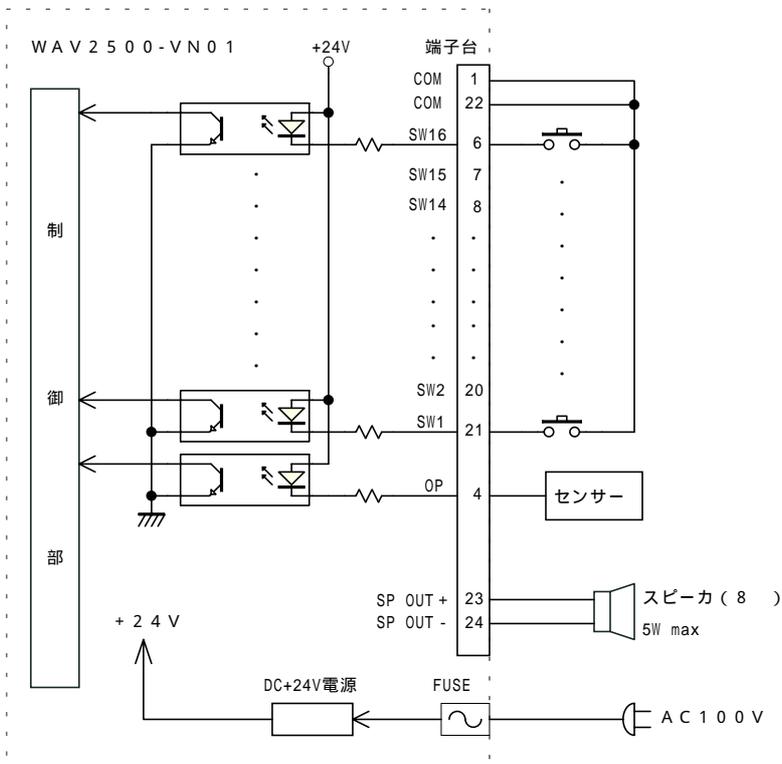


接続参考図

1. 「誘導音インターバルタイマー再生モード」での使用時



2. 「誘導音センサー・接点入力再生モード」での使用時



使用するセンサーは、出力がオープンコレクタになっている物を使用
願います。

押しボタン付ハーネスについて

1. 押しボタン付ハーネスの破損・劣化内容並びに保守メンテナンス

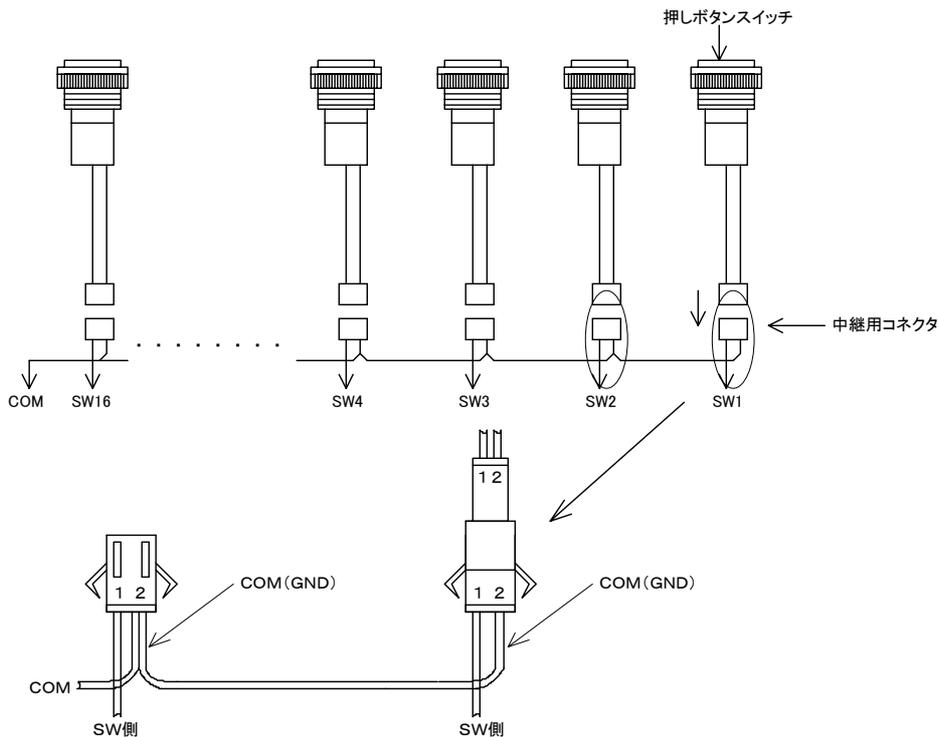
用途	破損・劣化内容	メンテナンス
駅の触知図案内板の場合	酔っ払いなどが雨傘でフェンシングし、押しボタンを破壊。 またはハーネス毎、引き出し、破損。	押しボタン部品の交換 押しボタン付きハーネスの交換
	一般健常者兼用の触知図案内板の場合、使用頻度が高く、押しボタンが劣化・破損	押しボタン部品の交換 押しボタン部品の定期交換
博物館・記念館の点字説明板・装置の場合	子供が、力強く、押しボタンを押すので、劣化が激しい。場合により破損。	押しボタン部品の交換 押しボタン部品の定期交換

(注) 保守メンテナンス用に予備の押しボタン、押しボタン付ハーネスを在庫して下さい。

2. 押しボタン付ハーネスの製作上のご注意

押しボタンの選択	<ol style="list-style-type: none"> 1. 使用頻度が高いので、FA用の押しボタンを推奨。 2. 押しボタンのキャップなどが簡単に交換できる構造を推奨 3. 駅などの触知図案内板の場合、「防滴仕様」を推奨。
ハーネス製作	<p>押しボタンと WAV2500-VN01 間は、必ず、中継コネクタ・端子台等で中継して接続します。この際、COM(GND)は押しボタン端子で取るのではなく、中継コネクタ・端子台側で取ります。</p> <p>理由は、酔っ払いなどが雨傘でフェンシングし、押しボタン本体を破損したり、ハーネス毎、引出しても、他の押しボタンは正常に動作(再生)させるためです。</p>

3. 製作参考図



使用部品(参考)

品名	型名/メーカー	備考
押しボタンスイッチ	LB-15WGS1/日本開閉器	防滴または相当品
スイッチ用ボタン	AT-4045-Y(黄色)/日本開閉器	カラーバリエーション有り
スイッチ用ソケット	AT-711/日本開閉器	

困った時に (トラブルシューティング)

電話で多い 問合せ	まったく、再生しない	スマートメディアのフォーマット(初期化)をしないで、カードデータファイルと WAVE ファイルをコピーした カードデータファイル .wpj がコピーされていない。
	再生しない WAVE ファイルがある	ある WAVE ファイル録音・編集ソフトで録音・保存した WAVE ファイルは WAV シリーズで再生できないものがあります。WindowsOS アクセサリのサウンドレコーダー等で開き、別のファイル名で保存し、VoiceMaker3 で登録して下さい。

再生しない場合の簡単なチェック方法	<ul style="list-style-type: none"> ● スマートメディアのフォーマット ● カードデータファイル .wpj の有無 ● WAVE ファイル .wav の有無 	MODE1 再生モード「通常再生」「タイマー 0 秒」に設定します。 MODE2/MODE3 1-8/9-16 まで「全て ON」に設定します。 電源 ON にして、再生するか点検します。
VoiceMaker3 バックがある場合	<ul style="list-style-type: none"> ● メッセージ・接点端子の割付け ● WAVE ファイル.wpj の試聴 ● レポート印刷 	スマートメディア内のデータを、事前に VoiceMaker3 CardData フォルダに収納するフォルダを作成してコピーします。 コピー後、VoiceMaker3 を起動し、WAVE ファイル登録画面でカードデータファイル.wpj を読み込み、画面表示、印刷、試聴して登録内容を確認します。

困った状態	LED表示	原因	対処方法
電源 LED が点灯しない	POWER の LED が点灯しない	電源が接続されていない	接続を点検し、接続します。
		極性が間違っている	接続を点検し、接続します。
再生しない接点・アドレスがある	PLAY の LED が点滅 *1	接続ミス	接続参考図を参照の上、コネクタの接続を点検し、再接続
		その接点・アドレスに対応した WAVE ファイルがない	カードにコピーした際、漏れが生じたので、その WAVE ファイルをコピーします。
まったく再生しない	PLAY の LED が点滅 *2	スマートメディアがフォーマットされていない	12項を参照の上、スマートメディアをフォーマットし、データ(wpj ファイル, WAVE ファイル)をコピーします。
	PLAY の LED が点滅 *2	カード内にカードデータファイル(xxx. wpj)がない	VoiceMaker3 でカード内の.wpj ファイルを読み込み、レポート出力して確認。データファイルがない場合、VoiceMaker3 で作成し、コピーします。
	PLAY の LED が点滅 *1	WAVE ファイル(xxx. wav)がカード内にない	VoiceMaker3 でカード内の.wpj ファイルを読み込み、レポート出力して確認。 ない場合、WAVE ファイルをコピーします。
		音量ボリューム「小」	再調整
		接続ミス	コネクタの接続を点検し(特に COM 端子部)、再接続
		再生モード設定ミス	再生モードを確認し、再設定
再生するが、時々、リセット状態	ALM LED が点灯	タイマーモード設定ミス	タイマーモードを確認し、再設定
		ノイズ等で CPU 暴走	ウォッチドックタイマー自己復旧しているが、ALM LED、ALM 端子は出力を保持。電源ライン、信号ライン、近所にモーター等ノイズ源をノイズ対策します。
入力接点と再生する内容が合っていない。		設定ミス	VoiceMaker3 でカード内の.wpj ファイルを読み込み、レポート出力して確認。再設定、カード作成し、コピーします
組立再生しない、順序が違う		接続ミス	コネクタの接続を点検し、再接続
リピート回数再生しない、回数が違う		設定ミス	VoiceMaker3 でカード内の.wpj ファイルを読み込み、レポート出力して確認。再設定、カード作成し、コピーします
スマートメディアがカードコネクタの奥まで入らない		挿入方向違い	挿入方向を確認し、再挿入

(注) *1 再生の起動時にPLAYのLEDが点滅します。STOP入力にて消灯します。

*2 PLAYのLEDが点滅した状態で、再生起動を行うとALARMのLEDが点灯します。

(注)本書中記載の商品・社名は各社の商標または登録商標です。本書記載の仕様・概観は改良等により、予告なく変更になることがあります。